

## 西表島森林生態系保護地域の拡充について

西表島には日本最大規模のマングローブ林や亜熱帯性の広葉樹林などで構成される森林が広がり、イリオモテヤマネコをはじめとする貴重な野生生物が生育・生息している。

林野庁 九州森林管理局では、この貴重な森林生態系を保護することとし、平成3年に西表島森林生態系保護地域を設定。平成24年度には区域を大きく拡充した。

今回、更に拡充を行った区域は、これまで分収造林地として民間企業と国により共同で育成を図ってきた西表島西部に位置する森林である。

契約相手方の民間企業より、世界自然遺産候補地となっている西表島での自然保護・生物多様性保全への貢献といった観点から、一部区域の解除申請があった。

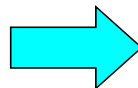
この区域解除の申請を受け、現地調査及び学識者・地元自治体等から構成する保全管理委員会等の意見を聴き森林生態系保護地域にその区域を拡充。世界自然遺産登録に必要な法的な保護担保措置の強化を図った。

### 【拡充した林分の状況】



### 【森林生態系保護地域の面積】

拡充前 20,471ha

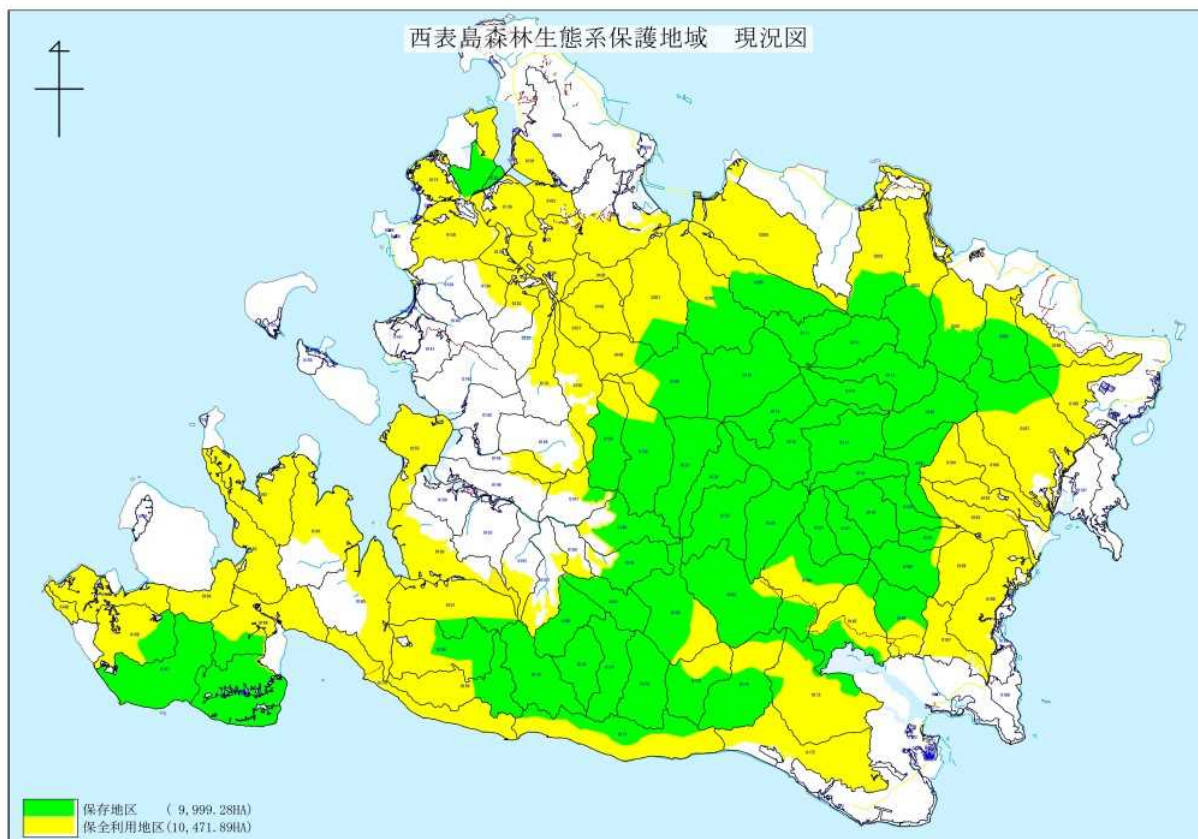


拡充後 22,367ha

【拡充した面積：1,895ha】

※小数点以下四捨五入のため面積は不一致

【拡充前の区域図】



【拡充後の区域図】

